

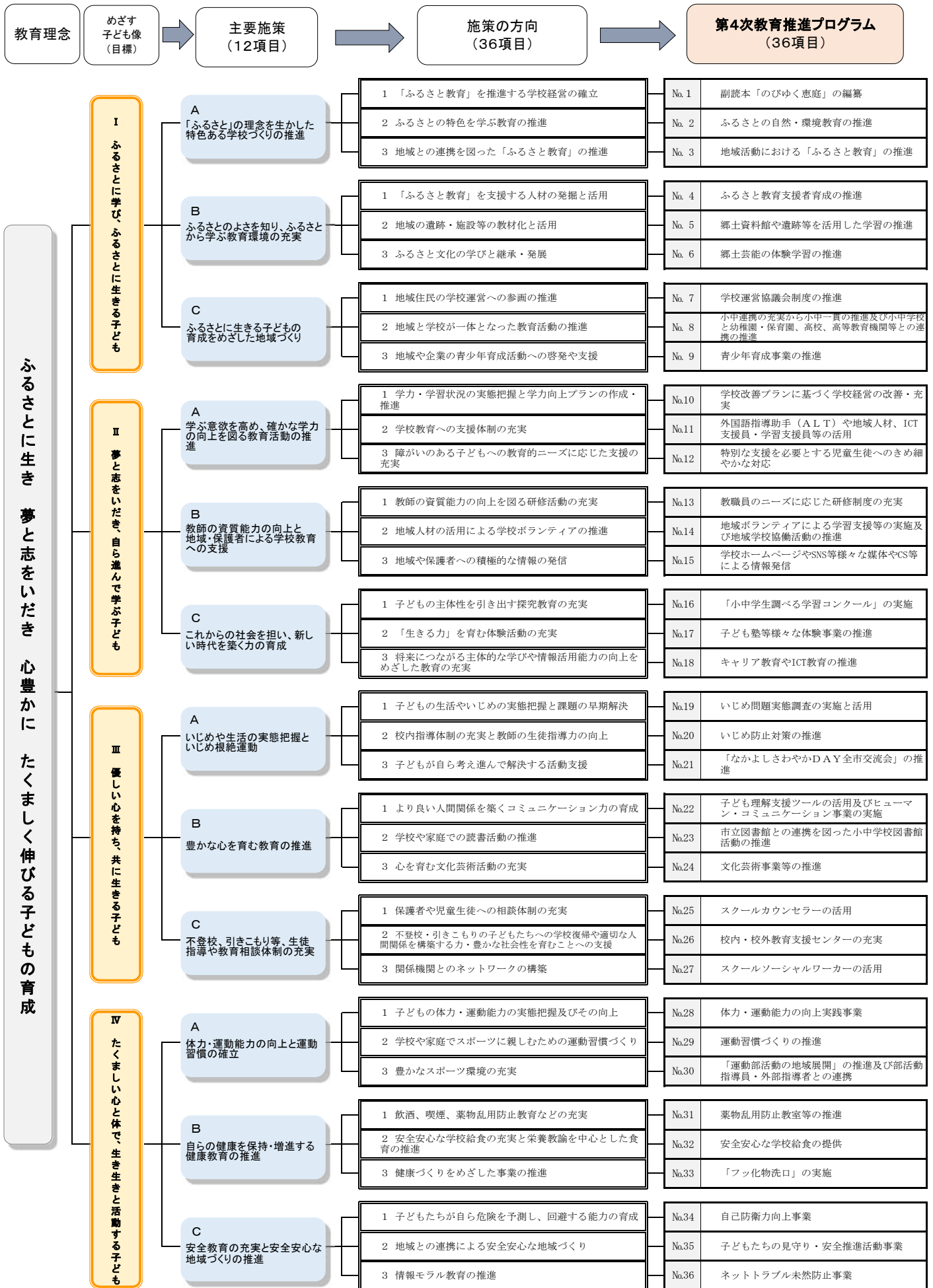
恵庭市学校教育基本方針

第 4 次 教 育 推 進 プ ロ グ ラ ム **(令 和 8 年 度 ~ 令 和 12 年 度)**

令 和 8 年 3 月

恵 庭 市 教 育 委 員 会

第4次教育推進プログラム体系図 (R8~R12)





シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	I	A	1	5	2
事業目標	恵庭の歴史や産業、くらし等を学ぶための副読本を作成し、ふるさとへの興味関心を高め、ふるさとを愛する心を育成する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 副読本編纂委員会を設置し、教科書の採択に対応して改訂。 副読本「のびゆく恵庭」の改訂版を編集発行。 小学校第3・第4学年の社会の授業等で学習資料として活用。 				
事業推進による効果	「ふるさと教育」の推進にあたり、具体的な恵庭市の歴史や産業、くらし等についてまとめた副読本を活用することで、郷土愛が一層深まることが期待できる。				
事業推進上の課題	新たな情報を学校に適宜提供し活用していくことが課題である。また、編纂にあたり、教職員および事務局の作業負担が大きい。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	【改編14訂版】	【改編14訂版】	【改編14訂版】	【改編14訂版】	【15訂版】
	改編14訂版の資料見直し・資料収集	学習指導要領社会科についての学習、単元構想案	15訂版編集作業の流れ確認、単元構想、資料収集 <small>※大規模編纂作業前年度であり次年度体制の検討</small>	単元内容・配当時数確定、単元内容の検討、取材・本文原稿執筆、指導書作成、テスト作 <small>※大規模編纂作業体制整備</small>	15訂版ワークシート作成 <small>※新学習指導要領全面実施 ※新教科書使用開始</small>
概算事業費	50 千円	2100 千円	50 千円	3000 千円	50 千円
特記事項	<p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 改編14訂版（令和6年度より使用） 15訂版（令和12年度より使用） <p>～編纂は4年サイクルで実施～</p> <p>※サイクル上では令和10年より15訂版の使用となるが、令和10年より新学習指導要領の移行期間に入る。令和12年より新学習指導要領の全面実施となるため、それに合わせて教科書の採択が行われる。よって令和10年は改編14訂版を引き続き使用することとなる。</p> <p>【配慮事項】・編纂にあたっては、市民の意見も参考としながら、副読本の改訂を行う。</p>				
令和12年度末までの具体目標	15改訂版は、令和11年度に印刷し、令和12年度に使用開始する。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	I	A	2	5	2
事業目標	ふるさと教育の充実のため、自然や環境など、ふるさとの特色を学ぶ教育の推進を図る。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・花植え、清掃活動、河川に親しむ活動。 ・環境に関する教育。 ・「ふるさと景観絵画コンクール」の実施。 				
事業推進による効果	身近なふるさとの自然を通じた教育活動により、環境に関する理解が深まるとともに、ふるさとの特色を学ぶ機会を創出する。				
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育を地域の特色や学校施設に合わせて、指導方法等を工夫する必要がある。 ・総合学習等の限られた時数の中で、活動時間を確保しなければならない。 				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	花植え、ゴミ拾い、河川に親しむ活動	→ 継続			
	自然と触れ合う活動を通じた環境教育	→ 継続			
	「ふるさと景観絵画コンクール」の開催	→ 継続			
概算事業費	79千円	79千円	79千円	79千円	79千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	地域資源を活用した「ふるさと教育」の実践を図り、SDGs（持続可能な開発目標）でも挙げられている環境問題について、より深い学びを実現する。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	I	A	3	5	2
事業目標	地域に根ざし地域に開かれた学校づくりを推進し、地域と協働で活動に取り組むことにより、子どもたちのふるさとに対する理解を深め、ふるさとを愛する心を育成する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵庭市総合計画や恵庭市学校教育基本方針等に基づき、ふるさと教育コーディネーターを中心に教育活動を実践。 ・ 各学校で、地域人材を活用した教育活動を実践。 ・ 学校運営協議会等を活用しながら、町内会等と連携機会を増やし、地域に密着した取組を推進。 ・ 花のまちづくりなど、地域の特色ある学習を推進。 				
事業推進による効果	町内会をはじめとした地域団体と連携することにより、地域とのつながりが広まり、子どもたちのふるさとへの意識の定着が図られる。				
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動を行う上で、地域、指導者との連携が課題である。 ・ 事業が形骸化しないよう、子どもたちが主体的に地域活動に参加できる工夫をしていくことが課題がある。 				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 地域活動におけるふるさと教育の強化、推進 ふるさと教育コーディネーターを中心とした学校活動推進 </div>				
概算事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
特記事項	【地域活動等の取組例】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「花壇コンクール」の実施 ・ サケの放流事業の実施 ・ 市内企業の社会科見学等の実施 ・ 地域行事「しままつ鳴子まつり」等への参加推進 				
令和12年度末までの具体目標	ふるさと教育コーディネーターを中心とした「ふるさと教育」の推進や、地域の行事等への参加推進により、ふるさとを通じた学びを深め、地域への理解を促す。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	I	B	1	5	5
事業目標	地域に根ざした郷土学習の実施・指導の支援者を育成する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした郷土学習の開催と支援者の確保育成。 ・郷土資料館に郷土学習のために訪れる団体見学の小学生への対応支援者の育成。 				
事業推進による効果	一般市民や次世代を担う小中学生に対し、地域に根ざした郷土学習を地域住民の支援を受けて行うことにより、「ふるさと恵庭」への関心をより深めていただくことが期待できる。				
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者の確保 ・育成方法の確立 ・無理のない段階的な事前学習の実施 				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	ボランティアへの提案・事前学習の開催	ふるさとさ散歩見学会実践・団体見学会対応の事前学習	ふるさと散歩見学会・団体見学会対応の実践		
概算事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	地域住民の支援を受けて事業を実施することにより支援者・事業参加者双方とも「ふるさと恵庭」への関心を深めていただくことが期待できる。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	I	B	2	5	5
事業目標	すべての市民が生涯を通じて恵庭の歴史や自然を学習できる機会を提供する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料館において、展示解説・各種観察会等の実施。 小学校に昔の道具を貸出する「ふるさと宅配事業」など、資料館外でも学習の機会を提供する。 遺跡を活用した展示や講演会等の実施。 				
事業推進による効果	市民が恵庭の歴史や自然を深く知り、郷土への愛着を涵養することで、恵庭に住むことへの満足度を高め、心豊かに生活することに期待できる。				
事業推進上の課題					
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	歴史・自然学習の実施				
概算事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	郷土資料館の入館者数増と史跡カリンバ遺跡の整備推進につなげる。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	I	B	3	5	5
事業目標	「すずらん踊り」「恵庭岳太鼓」をはじめとする郷土芸能の伝承発展に努め、ふるさとを愛する心を培う。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域に伝統芸能の指導者を派遣し、郷土芸能を紹介・普及。 ・体験事業や総合的な学習の時間、運動会等の学校行事を活用した体験学習の推進。 				
事業推進による効果	郷土芸能を体験したり、理解することから、郷土芸能に込められた想いに触れ、郷土愛の育成・愛着につながっていくことが期待できる。				
事業推進上の課題	各保存会の存続に向けた組織強化への継続的支援及び、子ども達や地域の大人達が郷土芸能にふれあう機会の拡充に向けて、郷土芸能の更なるPRと理解を深めるための情報提供の形態の工夫。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">指導者派遣 (随時)</div>				
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">学校行事他 イベント出演</div>				
概算事業費	240千円	240千円	240千円	240千円	240千円
特記事項	【実施内容】恵庭の郷土芸能である「すずらん踊り」「恵庭岳太鼓」の各保存会から指導者を学校に派遣するとともに、総合的な学習の時間、学校行事、クラブ活動等を活用した郷土芸能体験と学習を実施。				
令和12年度末までの具体目標	各小学校区において、郷土芸能への取組を目指す。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	I	C	1	5	3
事業目標	保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域の力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」を目指す。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域住民が学校運営基本方針を承認。 学校運営について教育委員会や校長に意見を述べるができる。 教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べるができる。 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域との組織的・継続的な体制が構築できる。 子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有できる。 学校や子どもたちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識をもち、役割分担をもって連携・協働による取組ができる。 				
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の高齢化 地域連携に関する組織体制づくり 地域住民や保護者への取組に対する周知 				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
概算事業費	1,864千円	1,864千円	1,864千円	1,864千円	1,864千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域との組織的・継続的な体制の構築 地域人材を活用した教育活動の更なる充実 				

小中連携の充実から小中一貫の推進及び小中学校と幼稚園・保育園、 高校、高等教育機関等との連携の推進

【 教育総務課 】

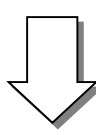
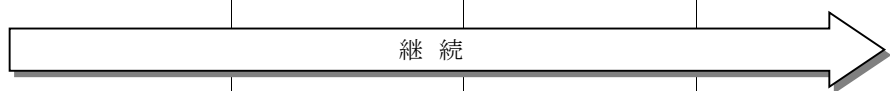
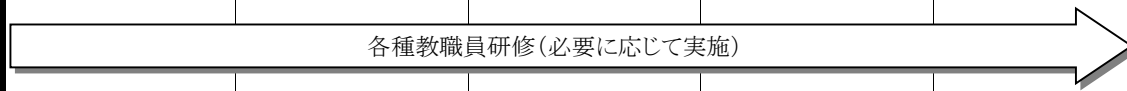
シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	I	C	2	5	2
事業目標	小中一貫教育の推進や、市内の幼稚園・保育園、高校、高等教育機関等との連携を目指す。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育推進委員会の開催。 ・スタート・カリキュラムを取り入れた教育課程の編成。 ・「幼保小」連携に係る取組の推進。 ・高校や高等教育機関等との連携による教育活動の推進。 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼保小」及び小中学校の連携により、就学や進学のスームズな接続 ・就学や進学に伴う子どもたちの不安軽減や、学習意欲及び理解度の向上 ・地域の高校や高等教育機関等との連携により、授業への支援や進学にあたっての意識の醸成 				
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育機関や学校間での情報共有における個人情報の取扱い ・連携に伴う各機関のニーズの把握 ・連携を推進するための人的資源の確保 				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	小中一貫教育推進委員会の開催	→ 継続			
	「幼保小」連携の推進	→ 継続(ニーズの把握、取組の検討)			
	高校や高等教育機関との連携の推進	→ 継続			
概算事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育推進委員会を開催し、学校間における一貫性のある教育を実現することで、子どもたちの意欲的な学びにつなげる。 ・「幼保小」連携により、幼稚園や保育施設等で取り組む教育の改善を働きかけ、いわゆる「小1プロブレム」の解消を目指す。 				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	I	C	3	5	3
事業目標	ふるさとに生きる子どもの育成を目指した地域づくりを進めるため、家庭や学校だけでなく、行政や関係機関・団体、企業などが連携するとともに、姉妹都市との交流などを通じて、地域一体となった青少年の育成・支援を推進する。				
事業概要	青少年の健全育成に賛同する団体及び機関等により構成される「恵庭市青少年育成市民の会」において、夏・秋季の青少年育成強調月間の際に啓発活動や『青少年育成市民のつどい』を実施するとともに、青少年の留学体験事業である国際交流派遣事業を支援する。また、姉妹都市和木町と毎年行う教育使節団訪問交流において、将来を担う小中学生が隔年で交互に訪問し、お互いの情報交換や意見交流を図る。				
事業推進による効果	強調月間で啓発活動を行うことで、青少年を取り巻く問題について、広く保護者や地域の大人の意識を高めつつ、青少年の健全育成を社会全体の責務としてとらえる意識が高められるとともに、加盟団体を通じて「市民の会」の活動情報を市民や企業などへ広める機会となる。また、青少年国際交流派遣事業や、『青少年育成市民のつどい』を実施することで、青少年の人材育成と活躍の場を広げる。教育親善使節団が互いに訪問し、施設見学や宿泊などを通じて、姉妹都市の友好親善と姉妹都市交流の理解を深める機会となる。				
事業推進上の課題	青少年を取り巻く問題について、広く保護者や地域の大人の意識を高めるため、加盟団体、関係団体との情報共有。持続可能な連携体制の確立。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	「青少年育成市民の会」活動の推進 (市民等への啓発活動、各種事業の開催、加盟団体による事業の展開)				
	○姉妹都市交流事業				
概算事業費	1,036千円	721千円	1,036千円	721千円	1,036千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	恵庭市青少年育成市民の会による夏・秋季の啓発活動で青少年の健全育成を図る。また、青少年育成市民のつどいの際に、青少年育成市民のつどいを開催し、広く青少年の活躍の場を提供する。姉妹都市や友好都市との青少年交流事業について、目標達成に向けた実施内容の検討を継続する。				

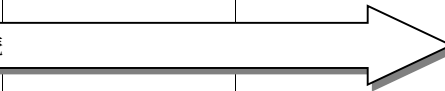
シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	II	A	1	5	2
事業目標	学校改善プランに基づく学校経営の改善・充実を図り、児童生徒の基礎学力の定着と向上を目指す。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委や各学校の学力向上の取組を交流し、今後の課題や改善策を協議。 ・指導方法、授業内容の改善について、学力向上アドバイザーによる指導・助言。 ・学力・体力向上推進会議を開催し、専門的な意見を取り入れ、学力向上につなげる。 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校改善プランに基づく適切な目標設定により、学力の向上を図ることができる。 ・学力向上アドバイザー等による指導・助言を参考に、指導体制の工夫を図ることができる。 ・外部の方の意見を聞くことで、多面的な視点で指導の改善を図ることができる。 				
事業推進上の課題	学校の学習成果を図るため、自主的な家庭学習の定着が課題である。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	各学校での学校改善プランの作成	→ 継続			
	学力向上アドバイザーによる指導・助言	→ 継続			
	学力・体力向上推進会議の開催	→ 継続			
概算事業費	12,092千円	12,092千円	12,092千円	12,092千円	12,092千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・NRTや全国学力学習状況調査において、各学校が定める到達目標を達成し、実施結果を活用して学力向上に繋げる ・GIGAスクール構想を踏まえたICT活用、学習指導要領に準じた実践研究を行い、授業改善を図る。 				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	Ⅱ	A	2	5	2
事業目標	外国語科・外国語活動におけるA L Tや外部人材、専科教員等の適正配置や、ICT支援員・学習支援員等の活用により、児童生徒の学力の向上を図る。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語教育において、ネイティブ・スピーカー（A L T）や英語が堪能な地域人材を活用した指導体制や指導方法を工夫して英語教育の充実。 ・児童生徒の個に応じたきめ細やかな指導を行うため専科教員等の配置を推進する。 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が生きた英語に触れる機会の充実 ・児童生徒の異文化に対する理解の促進 ・個に応じた指導の充実 				
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な人材の確保 ・北海道教育委員会との配置調整 				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	ALT・外部人材の配置 専科教員等の適正配置				
概算事業費	36,851千円	36,851千円	36,851千円	36,851千円	36,851千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が生きた英語に触れる機会を充実させ、聞くこと・話すことの活動を通じて英語力を高め、コミュニケーションを図る意欲を高める。 ・学習支援員の配置により、特に学力下位層の引き上げを図る。 ・ICT支援員の配置により、ICT環境の効果的な活用を図る。 ・教員の専門的な業務以外の負担軽減を図り、指導に充てる時間を確保することにより、指導の充実を図る。 				

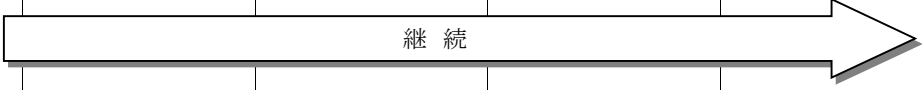
シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	Ⅱ	A	3	5	1
事業目標	障がいや発達に心配のある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターと連携し、個別の指導計画に基づいた指導。 ・幼保・小・中の連携を強化し、情報を共有することで、一貫したきめ細やかな指導。 ・特別支援教育支援員の適正配置の検証。 ・通級指導教室の適正な設置を検証。 				
事業推進による効果	障がいや発達の心配のある子供の自立と社会参加を目指した取り組みを含め、「共生社会」の形成に向けた「生きる力」を身に付けるための学校教育の推進を期待することができる。				
事業推進上の課題	個別の教育的ニーズを把握し、通級指導教室の設置及び特別支援教育支援員の効果的な配置や勤務形態等について、工夫することが課題である。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	通級指導教室の適正な設置を検証 特別支援教育支援員の適正配置の検証				
概算事業費	2685千円	2700千円	2700千円	2700千円	2700千円
特記事項	通級指導教室設置状況（令和7年度現在） 言語通級：1校 発達通級：小学校4校、中学校1校				
令和12年度末までの具体目標	個別の教育的ニーズを把握し、通級指導教室の設置及び特別支援教育支援員の適正配置の検証を継続する。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	II	B	1	5	2
事業目標	教職員のニーズを反映した各種研修を通して、教職員の資質向上を図る。				
事業概要	夏季・冬季休業期間に、学校を取り巻く様々な課題に即した研修を実施。				
事業推進による効果	教職員の資質が向上することにより、学習指導や生徒指導等、教育活動の改善が期待できる。				
事業推進上の課題	長期休業期間中のため、他の研修との日程調整や参加しやすい実施方法の工夫				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 恵教研と連携し セミナーの内容 を検討、決定  ・サマーセミナーの実施 ・ウインターセミナーの実施 </div>	 継続			
	 各種教職員研修(必要に応じて実施)				
概算事業費	152千円	152千円	152千円	152千円	152千円
特記事項	【研修内容の例】 ・ふるさと教育、教育現場での生成AI活用方法等 ※その他道実施研修事業の受講勧奨				
令和12年度末までの具体目標	教職員のニーズや今日的課題に応じた魅力のある研修を開催し、参加率を高める。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	Ⅱ	B	1	5	2・3
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に居住する学習指導が可能な人材の活用により、児童生徒に対する学習支援を推進し、学力向上につなげる。 ・地域ボランティアによる学習支援の実施をはじめとした各学校の地域学校協働活動を推進する。 				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの学習支援による放課後学習会、長期休業期間中における学習会などの実施。 ・各学校と調整しながら地域学校協働活動推進員の配置を進める。 ・地域学校協働活動推進員を中心に、地域住民による学習支援をはじめとした学校運営への協力支援を活発化させる。 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの学習支援による放課後学習会、長期休業期間中における学習会などの実施 ・地域住民による学校運営への協力支援をきっかけに、地域と学校の連携が図られることで、教育環境整備の充実が期待できる。 				
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアで指導できる地域人材の確保 ・各学校の進捗を把握し、それぞれの状況に応じた支援を適宜行う必要がある。 				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる学習支援 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進員の配置 				
概算事業費	2,132千円	2,664千円	3,197千円	3,197千円	3,197千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	ボランティアによる学習支援や図書館活動への参加者の増加 地域住民による学習支援をはじめとした様々な地域学校協働活動の推進により、子どもたちの豊かな学びの場づくりと地域住民同士の連携強化への発展を目指す。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	II	B	3	5	2
事業目標	学校の教育活動をホームページ等により積極的に公開することにより、学校教育に関する一層の理解を図り、地域に開かれた学校づくりを推進する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動への理解や関心を高めるよう、学校活動にかかる情報を学校ホームページや町内会回覧等で発信。 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> 公開により第三者が関わることで、授業内容や指導方法の改善が図られる。 保護者や地域住民の学校教育への理解・関心の深まりと、支援や協力が期待できる。 				
事業推進上の課題	ホームページが形骸化しないよう積極的な更新を行う必要がある				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業の実施 市教委・学校が連携したHPの周知 町内会回覧等を活用した地域 				
	継 続 				
概算事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページを積極的に活用し、全校で定期的な更新を実施する。 ホームページや町内会回覧等による学校だよりの公開を継続する。 CSにおいて地域・保護者と共有すべき情報を適宜、発信・共有を図る。 				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	II	C	1	5	2・3
事業目標	市立図書館や学校図書館を活用した調べ学習を推進し、児童生徒の自ら学ぶ力の育成を目指す。				
事業概要	<p>調べる学習地域コンクールの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生対象に実施。 ・作品テーマは自由に設定。 ・作品の規格は、小学生はB4判、中学生はA4判で各50ページ以内。 ・学校図書館、市立図書館等を活用。 ・市内コンクールの実施及び全国コンクールへの出品。 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が自ら課題を設定することにより、思考力・判断力・表現力の向上が図られ、感性や創造力を生かした表現活動の充実が期待できる。 ・学校図書館及び市立図書館の活用により児童生徒の主体的な学ぶ力の育成と読書意欲の向上が期待できる。 				
事業推進上の課題	授業で取り組むなど、応募数の多い学校がある一方、コンクールに関心のある児童生徒の応募となっている学校がある。日々の授業での探究的な学びの成果発表の場として活用される工夫が必要。ネット情報と図書資料を併用する調べを指導することについて、学校と連携を十分に行えるかが課題				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">市内コンクール</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">全国コンクール</div>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> 入賞作品 の出品 </div> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 2px solid black; position: relative;"> <div style="position: absolute; right: -20px; top: -10px; font-size: 2em;">➔</div> </div> <div style="text-align: center;">実施・継続</div> </div>			
概算事業費	41千円	41千円	41千円	41千円	41千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	全小中学校からの作品応募と、児童生徒参加率の増加を目指す。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	II	C	2	5	3
事業目標	子どもたちの豊かな体験を支援するための事業を実施する。				
事業概要	自然体験学習や文化芸術活動など、子どもたちの興味関心の幅を広げるような体験事業を実施する。				
事業推進による効果	様々な体験活動や集団行動を通じて、子どもたちの豊かな心の育成と社会性、協調性の育成が期待できる。				
事業推進上の課題	子どもたちの興味関心の幅を広げるような様々な体験事業の実施にあたり、最新の知識やスキルを獲得する必要がある。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-right: 10px;">子ども塾等 様々な体験事 業の実施</div> <div style="flex-grow: 1; border: 1px solid black; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, -100%);">継続</div>  </div> </div>				
概算事業費	336千円	336千円	336千円	336千円	336千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	市内各団体や高等教育機関等と連携しながら、体験事業の充実を図る。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	II	C	3	5	2
事業目標	将来を見通したキャリア意識の醸成や、GIGAスクール構想を推進していくための1人1台端末・電子黒板・ネットワーク環境等、ICT機器を計画的に更新し活用することで児童生徒の情報活用能力の育成を図る。				
事業概要	<p>キャリアパスポートの活用及び体験活動の実施等により、児童生徒の社会的自立を目指し、キャリア発達を促す。</p> <p>また、これまでの学習環境の整備に加え、教育の情報化推進により広がるICTの活用に対応する環境整備を計画的に実施するとともに、学習の基盤となる資質である情報モラルを含む情報活用能力を育成する授業づくりのための取組を進める。</p>				
事業推進による効果	将来を見通したキャリア教育、及び持続可能なICT環境整備により、授業改善の取組が推進され、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。				
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の計画的な更新・整備 授業改善方法等の取組体制の持続 				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	○GIGAスクール端末活用				
	残り1/3更新	継続			2/3更新
	○電子黒板活用				
	継続				
	○指導者用デジタル教科書活用				
	小学校主要5教科	デジタル教科書更新	継続		
	中学校主要5教科	デジタル教科書更新	継続		
○学習者用デジタル教科書及びデジタルドリルの活用					
継続					
○キャリア教育、ICT教育充実					
継続					
概算事業費	127,100千円	182,103千円	91,950千円	49,000千円	290,615千円
特記事項	<p>【令和8年度】1人1台端末全児童生徒1/3台更新・電子黒板2校更新</p> <p>【令和9年度】小学校指導者用デジタル教科書主要5教科更新（令和10-13年度版）ネットワーク統合による校務クラウド化の実現 教職員用校務用PC1/2台更新・電子黒板3校更新</p> <p>【令和10年度】中学校指導者用デジタル教科書主要5教科導入完了（令和11-14年度版）・電子黒板6校更新</p> <p>【令和11年度】電子黒板2校更新</p> <p>【令和12年度】1人1台端末全児童生徒2/3台更新</p>				
令和12年度末までの具体目標	キャリア教育やICT教育により、児童生徒が将来につながるために必要な力を養う。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連													
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策												
	Ⅲ	A	1	5	1												
事業目標	いじめ防止基本方針に基づき、市内全小中学校で「いじめ把握のためのアンケート」「対応状況調査」「取組調査」を実施・分析を行い、いじめ問題にかかる課題解決を図る。																
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> いじめの早期発見のためのアンケート調査等の実施・分析 いじめ防止基本方針に基づいた組織的対応および関係機関等との連携により、いじめ問題の早期解決を図る。 																
事業推進による効果	いじめ問題の実態を把握することにより、早期発見・早期対応につなげることができる。																
事業推進上の課題	アンケート調査に正直に回答できるような工夫や方策について、検討する必要がある。																
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度												
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> アンケート調査 ↓ 分析 ↓ いじめの認知 ↓ 関係機関と連携した対応 </div>																
概算事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円												
特記事項	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">調査の名称</th> <th style="width: 10%;">時期</th> <th style="width: 40%;">調査内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめの把握のためのアンケート調査</td> <td>年3回</td> <td>アンケートの実施</td> </tr> <tr> <td>いじめの問題への対応状況の調査</td> <td>年3回</td> <td>認知した案件に対する対応の調査</td> </tr> <tr> <td>いじめの問題の取組についての調査</td> <td>年2回</td> <td>学校で実施している取組の調査</td> </tr> </tbody> </table>					調査の名称	時期	調査内容	いじめの把握のためのアンケート調査	年3回	アンケートの実施	いじめの問題への対応状況の調査	年3回	認知した案件に対する対応の調査	いじめの問題の取組についての調査	年2回	学校で実施している取組の調査
調査の名称	時期	調査内容															
いじめの把握のためのアンケート調査	年3回	アンケートの実施															
いじめの問題への対応状況の調査	年3回	認知した案件に対する対応の調査															
いじめの問題の取組についての調査	年2回	学校で実施している取組の調査															
令和12年度末までの具体目標	いじめの実態把握とアンケート結果を活用したいじめの取り組みの検証を行う																

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	Ⅲ	A	2	5	1
事業目標	全ての児童生徒が自分が必要とされる存在であると感じ、多様性を認め互いに支え合うことができるような取組等、発達支持的生徒指導やいじめの未然防止教育を推進する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の健康観察」「いじめアンケート」等を活用 ・教育相談機関の周知徹底、相談体制（SC、SSW、教育支援センター指導員）の強化 ・恵庭市いじめ不登校問題等対策協議会の開催 ・関係機関との連携 ・いじめの法や基本方針の理解促進のための教職員研修（管理職研修・セミナー・校内研修）等を充実する 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒のいじめの悩みを小さなうちに発見・把握し、いじめ問題に早期から組織的な対応を行うための体制づくりを推進する。 ・学校組織としてのいじめに対する生徒指導力の向上を図る。 				
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の働き方改革に係る研修時間の確保と研修効果の判断 ・インターネットやSNS等学校管理下外に行われるいじめに関する事案に対処する体制整備と情報モラル教育の効果的な実施 				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	児童生徒の心の状況を把握する取組	継続			
	関係機関と連携した対応	継続			
	教員研修	継続			
概算事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
特記事項	「恵庭市いじめ防止基本方針」平成26年度策定、令和7年度改正（最終）				
令和12年度末までの具体目標	いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連											
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策										
	Ⅲ	A	3	5	1										
事業目標	各学校の児童会・生徒会代表等が集い、いじめ問題について情報交換や意見交換を行い、いじめ根絶に向けた取組の充実を図る。また、全ての児童生徒が自分が必要とされる存在であると感じ、多様性を認め互いに支え合うことができる取組の充実を図る。														
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内各校の児童会・生徒会代表が集い、いじめ問題の現状や課題、いじめ防止についての意見交換を推進する。 全市交流会を踏まえた各学校によるいじめ防止活動を推進する。 全市交流会での情報を組織還元し、各学校の取組の充実を図る。 														
事業推進による効果	児童生徒自ら互いにいじめに関する見方や考え方を交流し合うことにより、各学校での取組の一層の推進が期待できる。														
事業推進上の課題	交流会は、一部の代表児童生徒の参加だけで実施しているため、各学校での交流会の情報を還元した成果の把握方法を検討する必要がある。														
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度										
	全市交流会の効果的な仕組みづくりの検討 各学校でのいじめ根絶集会の実施														
概算事業費	207千円	207千円	207千円	207千円	207千円										
特記事項	当番校 <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> <th>令和11年度</th> <th>令和12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏小・恵明中</td> <td>島松小・恵北中</td> <td>若草小・恵み野中</td> <td>和光小・恵庭中</td> <td>恵み野小・柏陽中</td> </tr> </tbody> </table>					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	柏小・恵明中	島松小・恵北中	若草小・恵み野中	和光小・恵庭中	恵み野小・柏陽中
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度											
柏小・恵明中	島松小・恵北中	若草小・恵み野中	和光小・恵庭中	恵み野小・柏陽中											
令和12年度末までの具体目標	全市交流会での情報の組織還元の方法を検討し実施する。														

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	Ⅲ	B	1	5	1
事業目標	子どもたちの豊かな心を育み、良好な人間関係を築くために、自分の思いや考えを適切に表現したり、思いやりの心をもって他者と関わったりするなどのよりよい人間関係を築くコミュニケーション力を高める				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解支援ツール活用事業 ・コミュニケーション・スキル講座の実施 ・ヒューマン・コミュニケーション授業の実施 				
事業推進による効果	コミュニケーション力の向上や児童生徒や教職員等の良好な関係づくりにより、いじめや不登校等の未然防止を図る				
事業推進上の課題	測定データの効果的な活用方法等の検証、各校での取り組みの実施				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	子どもの理解支援ツールを活用した事業	→ 継続			
	ヒューマン・コミュニケーション	→ 継続			
概算事業費	150千円	150千円	150千円	150千円	150千円
特記事項	【令和7年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解支援ツール「ほっと」の活用 ・コミュニケーション・スキル講座実施（教職員対象） ・ヒューマン・コミュニケーション授業実施（柏陽中・若草小） 				
令和12年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解支援ツール『ほっと』活用率 100%（13校全校） ・コミュニケーション・スキル講座教職員受講率 100% 				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	Ⅲ	B	2	5	3
事業目標	<p>児童生徒の読書活動、学習活動及び教職員の教育活動を支援するため市立図書館と学校との連携を強化し、学校図書館の整備充実を図り、学校での朝読書を推進するとともに、家族で好きな本を読み、語り合う「家読」を推進することにより、読書習慣の形成と読書を通じた家族のコミュニケーションの促進を目指す。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な学校図書館図書整備の推進。 ・小・中学校に配置した学校司書を中心とした、児童生徒が本に親しめる学校図書館の環境整備。 ・学校図書館配本システムによる図書の効果的活用。 ・全小中学校での朝読の推進とともに、地域・家庭・学校との連携による、家庭読書の推進。 ・家読事業の周知活動の推進。 ・学校図書館全体計画に基づく連携。 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館環境整備及び読書活動の充実を図り、市立図書館との連携による学校図書館配本システムによる図書の効果的活用をすることで、児童生徒の読書活動が充実し、学習意欲が高まり、学ぶ力の向上が期待できる。 ・朝読・家読を推進することにより読書習慣が身につく、学校や家庭での生活リズムが形成され、児童生徒に豊かな心を育む教育の推進が育まれる。 				
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館全体計画に基づき、校長のリーダーシップのもと司書教諭・学校図書館担当者・その他職員・学校司書がそれぞれの立場で役割を果たして市立図書館を活用し、学校図書館の充実と児童生徒の読書習慣の形成つながる図書及び環境整備を継続していくことが求められている。 				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	学校司書の配置	学校司書交流による横連携の継続			
	学校図書館の充実	図書の整備・学校図書館の環境整備の継続			
	朝読・家読	小中学校との連携の継続			
概算事業費	5,238千円	5,238千円	5,238千円	5,238千円	5,238千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	「読書が好きな児童生徒の割合」の増加を目指す。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	Ⅲ	B	3	5	4
事業目標	子どもたちの豊かな人間性や社会性を培うために、成長段階に応じて必要な文化・芸術に触れ合う機会を設ける事業を推進する。				
事業概要	市民文化祭を開催し、子どもたちの芸術作品、演奏、演舞等の発表の場を設ける。上質な文化芸術事業に補助金を交付し、事業実施を支援する。文化活動で全道・全国に出場する方に対し、派遣費として補助金を交付する。				
事業推進による効果	子どもたちが上質な文化・芸術に触れる子ども、自身が文化・芸術の発信者となることで、作品などを通じて他者に共感する心が育くみ、精神的・人間的な豊かさの醸成が期待できる。				
事業推進上の課題	市民文化祭実行委員会を始めとする運営にかかわる団体と連携及び自主性の確保。また、同文化祭への個人・団体の参加数の増員。文化芸術事業実施団体や市民、学校への補助金制度の周知。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	補助金の交付				
概算事業費	800千円	800千円	800千円	800千円	800千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	文化芸術活動を担う人材との連携を強化し、市民が主体的に、かつ気軽に文化芸術に触れ参加できる環境づくりを進める。市内各団体に対し、補助金制度の周知および交付を実施する。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	Ⅲ	C	1	5	1
事業目標	児童生徒の潜在的な問題へアプローチすることで、不登校の長期化や引きこもり、いじめの未然防止、自死対策を図る。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の児童生徒、教職員、保護者等への相談活動。 ・家庭訪問等による引きこもり児童生徒への支援。 ・教職員、保護者等に対する研修会の実施。 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の様々ないじめや不登校など問題行動の早期発見・早期対応・未然防止が期待できる。 ・教職員の資質の向上が図られる。 				
事業推進上の課題	効果的な教育相談を実施するため、関係機関との連携体制を強化する必要がある。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	教育相談の実施	継続			
	道派遣申請	継続			
概算事業費	7720千円	7720千円	7720千円	7720千円	7720千円
特記事項	○スクールカウンセラー活動状況 ・会計年度任用職員（2名）： 小学校 8校、中学校 5校（道派遣兼務）				
令和12年度末までの具体目標	今後も様々な関係機関と連携して対応することが必須であることから、継続・強化が必要である				

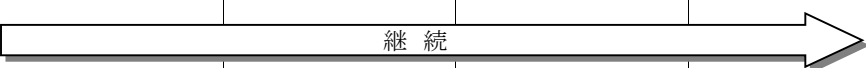
シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	Ⅲ	C	2	5	1
事業目標	様々な理由により学校に行くことができない児童生徒への学びの補償と、社会で生活していくための力や自信をつける集団活動を実施する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校外教育支援センターの環境整備 ・個々の状況に合わせてながら、基礎的な学力の定着を目指す ・集団活動や体験活動を通して、広く興味・関心を持つことを目指す ・心身ともに落ち着くことができる環境の中で交流を重ね、周りの人と関係を築きながら、社会で生活していくための力や自信をつけることを目指す。 ・校内教育支援センターへの人的支援 				
事業推進による効果	個々の状況に応じた支援を行うことにより、社会的自立のための力を身に付けることが期待できる。				
事業推進上の課題	教育支援センターの環境整備及び適正な指導体制の確保が課題である。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	校外教育支援センターの指導体制の確保及び環境整備 校内教育支援センターへの人的支援の検証				
概算事業費	25912千円	25912千円	25912千円	25912千円	25912千円
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・校外教育支援センター 3箇所 「ふれあいルーム」 「学びの森」（北海道文教大学との包括連携協定） 「ステップルーム」 ・校外教育支援センター 中学校5校 週2日（2時間/日）指導員派遣 				
令和12年度末までの具体目標	不登校支援・指導体制及び環境整備を検証する				




シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	Ⅲ	C	3	5	1
事業目標	スクールソーシャルワーカー（SSW）を市内小中学校全校に配置し、いじめや不登校等児童生徒の様々な問題について、市福祉部局と重層的連携を強化し対応、早期解決を図る。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> SSWによる学校訪問及び児童生徒へのアウトリーチ型支援体制の強化 学校、SSW連携担当者との連携及び支援 児童生徒、保護者の課題解決に向けた支援 問題行動等調査結果等に基づく相談支援体制の強化 市福祉部局や警察等関係機関との連携・調整 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関等が課題を共有することにより、解決策が具体化でき児童生徒や家庭の個別のニーズに応じた支援を行うことができる。 課題解決に向けた支援を行うことにより、速やかに問題解決を行うことが期待できる。 				
事業推進上の課題	児童生徒を取り巻く環境が複雑化しており、それぞれが抱える問題も家庭、学校、地域と多岐にわたる。早期発見、早期対応のため、今後も様々な関係機関と連携して対応することが必須であることから、継続・強化が必要。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	課題解決に向けた学校への指導・助	→ 継続			
	家庭訪問（アウトリーチ型支	→ 継続			
	関係機関等との連携の強化	→ 継続			
概算事業費	11561千円	11561千円	11561千円	11561千円	11561千円
特記事項	SSW全校配置 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度より毎月SSWによる学校訪問を実施し、各校の課題について共有、連携、指導助言を実施 各校へのSSW連携担当者配置 				
令和12年度末までの具体目標	今後も様々な関係機関と連携した相談指導体制を継続する				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	IV	A	1	5	2
事業目標	<p>各学校において体力運動能力の実態を把握するとともに、1校1実践を推進し、運動能力の向上並びに運動に対する意欲の向上を目指す。</p> <p>小学校の体育授業においては、市内の専門団体（総合型地域スポーツクラブ）から指導を受けることにより、児童の体力・実技力の向上、及び教員の指導力の向上を図る。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・体力・運動能力、運動習慣等調査及び、新体力テストを用いて全学年の実態を把握する。 ・学力・体力向上推進会議を開催し、専門家の意見を取り入れ、体力向上につなげる。 ・総合型地域スポーツクラブ「北海道ハイテクACアカデミー」の指導員が、小学校の体育授業において「走り方」や「器械体操」等を指導。外部指導者等との連携により、運動に対する興味、意欲の向上や、教職員の指導方法等の向上につなげる。 				
事業推進による効果	子どもたちが運動に取り組むことで、健やかで健全な育成と体力向上が図られる。				
事業推進上の課題	児童の体力・実技力の向上、及び教員の指導力の向上を図るための、効果的な実施内容・実施方法・回数等についての更なる検討が必要。また、発達段階に応じた体力の強化を図っていくことが課題である。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	体力向上プランの作成	→ 継続			
	学力・体力向上推進会議の開催	→ 継続			
	体育授業支援事業の実施(外部指導者との連携推進)	→ 継続			
概算事業費	366千円	366千円	366千円	366千円	366千円
特記事項	外部指導者については、総合型地域スポーツクラブであるハイテクACアカデミーによる体育授業支援が実施されている。				
令和12年度末までの具体目標	総合型地域スポーツクラブとの連携を踏まえた、児童生徒の体力・技術力の向上、教員の指導力向上を図り、1校1実践を含め、各学校でテーマを決めた体力づくりを推進する。				


シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	IV	A	2	5	2
事業目標	家庭・学校・地域が連携して、歩くことを基本としながら子どもたちの運動習慣の定着に向けた取組を推進する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校における1校1実践の取組を推進。 ・市PTA連合会などと連携して、運動習慣づくりを推進。 ・家庭でも継続して実施できる取組を奨励し、運動習慣づくりを推進。 				
事業推進による効果	基礎体力は、日常的運動習慣を確立することが極めて重要であり、歩くことをはじめとした運動習慣づくりを進めることにより、子どもたちの健やかで健全な育成と体力向上が図られる。				
事業推進上の課題	家庭・学校・地域がどの様に連携して、効果的で実効性のある取組を実施していくかが課題である。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・1校1実践の取組 ・家庭・学校・地域による取組 ・どさん子元気アップチャレンジへ参加促進 				
概算事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえ、家庭・学校・地域が連携して日常的な運動習慣の向上に向けた取組を実践する。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	IV	A	3	5	2
事業目標	中学校の部活動において、「運動部活動の地域展開」の推進及び部活動指導員・外部指導者との連携により、専門的な指導を受ける機会の創出や部活動に係る教員の負担軽減を図る。				
事業概要	<p>市で任用した部活動指導員や各校に登録されている外部指導者による専門的指導の実施により、技術・精神面での向上を図り、部活動における教職員の負担の軽減を図る。</p> <p>また、「運動部活動の地域展開」の推進に向けて検討組織での熟議を継続し、実情にあわせた方向性について検討を行う。</p>				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的指導による生徒の部活動における競技力の向上 ・教員の負担軽減と働き方改革の推進 ・子供たちの活動機会の確保と充実 				
事業推進上の課題	「運動部活動の地域展開」の推進に向け、市内の実情に合わせて方向性の検討を行う必要がある。また、推進に向けた財源の確保についても課題である。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	部活動指導員の配置	継続			
	外部指導者との連携	継続			
	部活動の地域展開の推進	継続			
概算事業費	3,080千円	3,080千円	3,080千円	3,080千円	3,080千円
特記事項					
令和12年度末までの具体目標	<p>部活動指導員の配置や外部指導者との連携により、競技の専門的な指導を受ける機会の創出、及び部活動に係る教員の負担軽減を図る。</p> <p>「運動部活動の地域展開」の推進については、令和8～10年度の間に休日の地域展開等に着手する。</p>				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	IV	B	1	5	1
事業目標	<p>飲酒や喫煙、薬物乱用等、非行に関する正しい知識を身に付けるとともに、適切な判断や行動ができる力の育成を目指した薬物乱用防止教室等を実施し、児童生徒の健全育成を図る。</p>				
事業概要	<p>・非行防止啓発資料の配布等、児童生徒及び保護者への啓発活動を推進</p>				
事業推進による効果	<p>薬物乱用の有害性・危険性を知ることで、非行を未然に防止し、自らの健康を保持増進する意識の醸成が図られる。</p>				
事業推進上の課題	<p>飲酒や喫煙、市販薬によるオーバードーズなど身近に薬物の危険が潜んでいることから、薬物乱用の未然防止と健全育成のため警察等関係機関とのが課題である。</p>				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	<p>非行防止啓発の実施</p>	<p>継続</p> 			
概算事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
特記事項	<p>・非行防止啓発 【主な関係機関】 ・北海道警察千歳警察署、恵庭ライオンズクラブ、恵庭市生徒指導協議会</p>				
令和12年度末までの具体目標	<p>児童生徒の健全育成に努め、警察等関係機関との連携し、非行の未然防止を図る。</p>				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	IV	B	2	5	2
事業目標	計画的な施設・設備、厨房機器の更新整備を行い衛生管理の徹底と職員の健康管理を図り、食中毒の発生や異物混入の未然防止に努め、新鮮で安全・安心な地場産食材の活用を進め、栄養バランスのとれた、よりおいしい給食の提供と食物アレルギー児童生徒への対応食の充実を図る。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・設備の整備及び衛生管理の徹底。 ・地場産食材の活用。 ・食物アレルギー対応。 				
事業推進による効果	地場産食材を活用した学校給食を提供することにより健全な食生活の推進と地産地消への理解が図られる。				
事業推進上の課題	安全安心な給食の提供をするために施設・設備の更新等を計画的に行う必要があるが、給食センター施設の老朽化により建て替えが検討されていることから更新等ができないため、故障等の場合は修繕しながらの対応となっている。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	整備及び衛生管理の徹底	継続 			
	地場産食材の活用	継続 			
	食物アレルギー対応	継続 			
概算事業費	377,170千円	377,170千円	377,170千円	377,170千円	377,170千円
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・設備の整備及び衛生管理の徹底。 「学校給食センター整備計画書」による計画的な施設・設備の更新及び職員の衛生検査と調理作業の点検確認の実施。 ・地場産食材の活用。 地場産品を活用した給食の献立を作成し児童生徒へ周知。 ・食物アレルギー対応 学校給食における食物アレルギーの未然防止を図る。 				
令和12年度末までの具体目標	地場産食材の活用と安全な食材の提供に努め、地場産食材の使用率を「第4次恵庭市食育推進計画」の目標である30%以上を目指す。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	IV	B	3	5	2
事業目標	「フッ化物洗口」を推進することにより、基本的な生活習慣の確立に加え、児童生徒の歯の健康維持を目指す。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 虫歯リスクが高い小学生に対し、普段の歯磨きや早寝早起きといった生活習慣の改善指導。 「フッ化物洗口」を実施することで、衛生的な口内環境を維持し、健康的な児童の育成。 				
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> 「フッ化物洗口」の実施による虫歯リスクの軽減 生活習慣の改善指導による児童の健全育成 				
事業推進上の課題	「フッ化物洗口」への保護者の理解				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">フッ化物洗口の実施</div>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">生活習慣の改善指導</div>				
概算事業費	1393千円	1393千円	1393千円	1393千円	1393千円
特記事項	令和7年度実施率：76.6%				
令和12年度末までの具体目標	「フッ化物洗口」の実施希望者の増加により、市内全校の虫歯リスクの低下を図る。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	IV	C	1	5	1
事業目標	子どもたち自身の安全安心に関わる意識及び課題解決能力の育成を目指し、子どもたちの自己防衛力の向上を図る。				
事業概要	自己防衛力向上事業を実施する				
事業推進による効果	いじめや不審者、犯罪など様々なトラブルから自分自身の身を守る力を養うことが期待できる。				
事業推進上の課題	時代に合った効果的な指導内容の検討が必要である。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	自己防衛力向上事業の実施				
概算事業費	941千円	941千円	941千円	941千円	941千円
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・CAP教育プログラム 年1回 対象 小学校8校（対象：小学4年生） ・ヤングケアラー講演会の実施 ・非行防止教室等の実施 年1回以上 （薬物乱用防止教室、ネットトラブル防止教室など） 対象 中学校5校 				
令和12年度末までの具体目標	いじめや犯罪から自己防衛力の向上を推進する。				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	IV	C	2	5	1
事業目標	学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで児童生徒の登下校等における安全の確保を図る。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・通学等自転車ヘルメット購入費補助事業 ・通学時等の交通安全指導（スクールガードリーダーによる巡回指導） ・恵庭市通学路安全推進会議による通学路合同点検の実施及び安全対策の徹底 ・防犯ブザーの配付 小学校新1年生用 550名分 ・不審者情報の提供（メール配信など） ・こどもセーフティハウスの周知 ・地域、少年補導員、生徒指導協議会など関係機関との連携強化 				
事業推進による効果	児童生徒の登下校時の安全確保が図られる。				
事業推進上の課題	登下校時の見守り体制の人員確保、ヘルメット購入補助事業の予算の確保が課題である。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	通学時の安全指導	→ 継続			
	ヘルメット購入補助事業	→ 継続			
	合同点検の実施	→ 継続			
概算事業費	3981千円	3981千円	3981千円	3981千円	3981千円
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダーの配置 ・令和8年度ヘルメット購入費補助事業予算：対象者500人、3,000円/人 				
令和12年度末までの具体目標	登校時の児童生徒の安全対策を推進する				

シート番号	第4次教育推進プログラム			総合計画との関連	
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	施策
	IV	C	3	5	1
事業目標	ネットパトロールの活用やフィルタリングの啓発等により、子どもにとって安心安全なネット環境の整備を図る。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対する、情報モラル教育の推進 ・ネットトラブル啓発 ・ネットパトロールの活用 ・学校やPTAなど関係機関と連携した取組の推進 ・青少年健全育成条例に基づく立入調査（有害図書及びフィルタリング啓発周知） 				
事業推進による効果	情報モラル教育を実施し、インターネット上のトラブルを未然に防止することにより、児童生徒の健全育成を図ることが期待できる。				
事業推進上の課題	児童生徒ネットコミュニケーション活動の的確な見守り体制が課題である。				
スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	情報モラル教育の	→ 継続			
	ネットパトロールの実施	→ 継続			
	関係機関等と連携・	→ 継続			
	立入調査の実施	→ 継続			
概算事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
特記事項	ネットパトロール 各校月1回以上 立入調査 年2回実施				
令和12年度末までの具体目標	情報モラル教育を通じてネットトラブルの未然防止を図り、児童生徒の健全育成と図る				

(参考) 第6期恵庭市総合計画 施策体系

		基本目標	施策	施策範囲
将来都市像「笑顔咲く暮らし彩るガーデンシティ創造都市」	都市ビジョン 学活が循環し未来を包む共育都市	1 自然と共生し 誰もが安全安心に暮らせる 市民主体のまち	1 地域コミュニティ活動や市民活動の振興	地域コミュニティ活動、市民活動
			2 多様性・多文化共生と男女共同参画の推進	人権、多様性、多文化共生、男女共同参画
			3 安全安心な市民生活の確保	交通安全、防犯、空き家対策、消費生活
			4 防災体制の充実	防災、減災、地域防災、危機管理
			5 消防・救急体制の充実	消防、救急
			6 水と緑豊かな自然環境の保全と共生	環境保全、有害鳥獣対策
			7 ごみの減量と適正な処理の推進	ごみ処理、循環型社会
			8 ゼロカーボンの推進	エネルギー資源、脱炭素
			9 自衛隊との連携・協力	駐屯地
		2 共につながり 支えあい 誰もが生き生きと暮らし続けられるまち	1 福祉サービス・福祉事業の充実	地域福祉、低所得者福祉、社会保険
			2 重層的支援体制整備事業の推進	高齢者福祉、障がい福祉
			3 地域包括ケアシステムの推進	介護サービス、生活支援、地域医療
			4 生涯を通じた健康づくり・生きがいの推進	保健、健康づくり
			5 スポーツを通じた健康づくりの推進	スポーツ
			6 地域に根ざした持続可能なスポーツ環境の整備	スポーツ環境
		3 まちの魅力を生かした 交流やにぎわいが生まれるまち	1 シティプロモーションの推進	シティセールス、移住・定住
			2 花のまちづくりの推進	花のまちづくり
			3 観光地域づくりの推進	観光、ガーデンツーリズム、スポーツツーリズム
			4 農業・商工業の振興	農業、林業、商工業、中小企業
			5 企業誘致や雇用の促進	企業誘致、雇用創出、就労支援
		4 機能的な都市空間を形成し 利便性が高く快適に暮らせるまち	1 都市基盤施設の整備・機能維持	道路、上下水道、公園、市営住宅、墓園、火葬場
			2 魅力ある市街地の形成	駅周辺整備、コンパクトシティ、景観、都市づくり
			3 新たな市街地整備の推進	土地利用、市街地拡大
			4 交通ネットワークの形成	公共交通
		5 ふるさとに誇りをもって 健やかに成長し 人と文化が育まれるまち	1 子ども・子育て支援の充実	子育て支援、児童福祉、母子保健、就学前教育・保育、障がい児支援
			2 小中学校教育の充実	学校教育、教育支援
			3 青少年・社会教育・読書活動の充実	青少年教育、社会教育、生涯学習、読書
			4 文化・芸術活動の充実	文化・芸術振興
5 文化財保護・活用の推進	文化財			
6 高等学校・高等教育機関との連携	高校、高等教育機関			
行政運営	将来都市像の実現に向けた行政運営	1 行政と市民との情報共有や市政情報の発信	協働、情報発信、情報共有、広報	
		2 健全な財政運営	財政	
		3 行政改革・事務改善・デジタル化の推進	行政改革、事務改善、デジタル化、マイナンバー	
		4 公共施設マネジメント	公共施設マネジメント	
		5 人材としての職員育成	職員育成	
		6 広域行政の推進	広域行政	
		7 姉妹都市・友好都市連携	都市間交流	